

市政について

2022年度春季市政懇談会



豊岡会場

2022.5.25(水) 19:30~21:00

豊岡市 DX 元年

～ 一歩ずつ前へ～

基本姿勢

- 1 市民の日々の暮らしを着実に支え続ける。
- 2 社会経済活動の再生に全力で取り組む。
- 3 地方創生を的確に進める。
- 4 4つの危機（災害、コミュニティ、経済、財政）からの脱却を目指し、的確に対応する。



市民の皆さまが「住んで良かった」と感じられるまち
平穏な日々の暮らしを守ることができるまち
心地よく、安心して生活を送ることができるまち

項目

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について
2. 防災マップの活用について
3. 男女が参画する地域づくりについて
4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査結果について
5. 新型コロナワクチン接種について
6. 北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備について
7. 水道料金の改定について

項目

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について
2. 防災マップの活用について
3. 男女が参画する地域づくりについて
4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査結果について
5. 新型コロナワクチン接種について
6. 北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備について
7. 水道料金の改定について

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について

2022年度
豊岡市の「DX元年」

(1) DX推進部の設置

- ・ DX・行財政改革推進課
- ・ 情報推進課

(2) DX推進戦略(骨子)の策定

長期目標「市民一人ひとりにデジタル技術の恩恵が行き渡り、多様な市民の多様な思いが叶えられている」

中間目標「市民等の手続きは簡単・便利になり、市職員は定型業務をしていた時間を市民サービス向上に使っている」

(3) 国「デジタル田園都市国家構想推進交付金」採択

採択3件／申請3件

採択総額 105,444千円(事業費ベース)

(市役所DXのイメージ)

市役所の手続き 簡単・便利

+

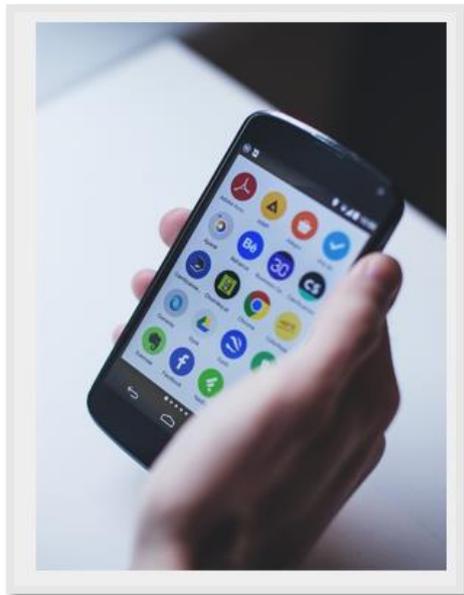
市職員の仕事 早く・正確



デジタル技術・機器

(デジタルを活用した市民サービス向上)

デジタルを使える人



いつでも・どこでも手続き

デジタルに不慣れな人



職員がデジタルで分かりやすく説明

(先行事例)出石地域 区長さんがスマホで連絡





地区名：福住 内容：奥山川左岸低水護岸崩落
内容詳細：奥山川左岸の護岸が約45m崩落している

(抜粋)



写真撮影→印刷
→役所に書類持参
→関係課にコピー送付



写真撮影→スマホで送信
(位置情報はスマホから) = 簡単
→関係課データ共有 = 早い

項目

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について
2. 防災マップの活用について
3. 男女が参画する地域づくりについて
4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査結果について
5. 新型コロナワクチン接種について
6. 北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備について
7. 水道料金の改定について

2. 防災マップの活用について

- (1) 5年ぶりに更新した防災マップを5月24日の区長便で、全世帯分をお届けします。
- (2) 防災マップでわかること
 - ① 100年に一度の雨で堤防が決壊したときの浸水区域
 - ② 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域
 - ③ 避難場所
- (3) 防災マップ裏面の啓発記事の記載事項
 - ① 避難情報の発令により市民がとるべき行動
 - ② 防災マップに掲載されている災害想定
 - ③ 避難の考え方（マップの着色を確認してどんな避難が必要か確認できる）
 - ④ 避難行動の確認（どのタイミングで、どこに避難すべきかを記入できる）

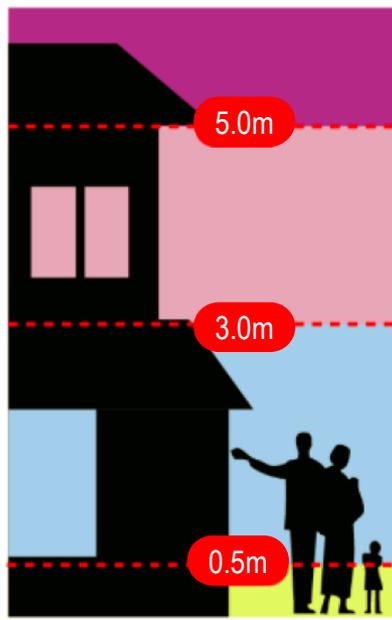
防災マップの着色の示す災害リスクととるべき行動

-  土砂災害警戒区域(土石流)
-  土砂災害特別警戒区域(土石流)
-  土砂災害警戒区域(急傾斜)
-  土砂災害特別警戒区域(急傾斜)
-  土砂災害警戒区域(地すべり)

土砂災害警戒区域

区域外への
早めの避難が
必要

※移動するのがかえ
って危険な場合は、
自宅2階以上（ガケ
から離れた場所）で
命を守る



5m以上
(2階水没)

浸水深5m以上の区域

3m~5m未満
(2階浸水)

浸水深3m~5m未満
の区域

0.5m~3m未満
(1階床上浸水)

浸水深0.5m~3m未満
の区域

0.5m未満
(1階床下浸水)

浸水深0.5m未満の区域

建物の高さ
と浸水深を比較
し、浸水深が深
い場合は区域外
への避難が必要

(1)防災マップで地域の災害リスクを把握したうえで
市民総参加訓練に臨んでください。

(2)市民総参加訓練

① 8月28日（日） 8時から1時間程度

自主避難を呼びかける防災行政無線放送を合図に訓練開始

②風水害を想定

③小中学生や女性の参加に配慮をお願いします。

参加した中学生には、避難行動要援護者や保育園児・幼稚園児らの避難誘導、炊出しの手伝いなどの役割を与えてください。

(3)防災マップを活用した訓練

①防災マップで確認した災害リスクに応じた避難行動（自宅に留まる人と災害時に避難する人の確認）

②安全な避難ルートの確認

項目

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について
2. 防災マップの活用について
3. 男女が参画する地域づくりについて
4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査結果について
5. 新型コロナワクチン接種について
6. 北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備について
7. 水道料金の改定について

3. 男女が参画する地域づくりについて

(1) 豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略(2021.3)

【上位目的】

固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、
お互いを尊重し支え合いながらいきいきと暮らしている

皆さんの「地域」の現状
は、
いかがでしょうか？

～6つの手段より抜粋～

手段

2

地域において男女が共に
意思決定・方針決定に参画している

- 多世代・多様な市民によるコミュニケーションが活発に行われている
- 地域活動に参画しリーダーシップを発揮する女性や若者が増えている
- 女性や若者の声やニーズが政策に反映されている



(2) 地域における意思決定・方針決定過程への女性の参画状況

No	項目	2020年度		2021年度	
		男性	女性	男性	女性
1	市の審議会等の委員	71.4% (711人)	28.6% (285人)	70.3% (702人)	29.7% (296人)
2	地域コミュニティ組織の役員	86.9% (305人)	13.1% (46人)	86.1% (304人)	13.9% (49人)
3	自治会役員 (区長)	100% (359人)	0% (0人)	100% (359人)	0% (0人)
4	市議会議員	91.3% (21人)	8.7% (2人)	91.7% (22人)	8.3% (2人)

(3) 出前講座

ア 講座名

すべての人が、生きやすく、生きがいのあるまちへ
～ジェンダーギャップの解消～

イ 対象

自治会、各種団体、学校など

ウ 内容

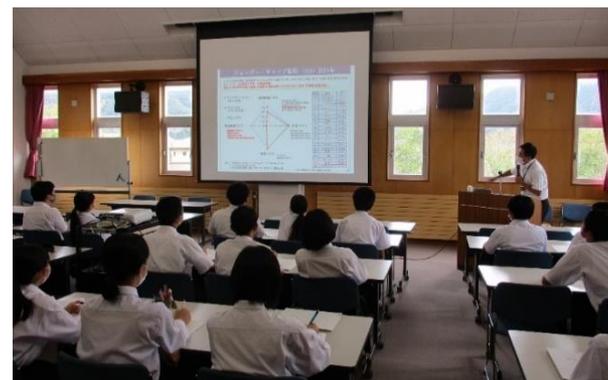
- (ア) ジェンダーとは
- (イ) 無意識の偏見・思い込みに気づく
- (ウ) なぜ、ジェンダーギャップの解消
が必要なのか（市民意識調査結果も含む）

エ 申込先

ジェンダーギャップ対策室
(TEL21-9004)



【福田区】



【出石中学校】

項目

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について
2. 防災マップの活用について
3. 男女が参画する地域づくりについて
4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査結果について
5. 新型コロナウイルスワクチン接種について
6. 北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備について
7. 水道料金の改定について

4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査

～ご協力ありがとうございました～

県設定の小規模集落の世帯
82行政区（約2000世帯）

市内全行政区（区長・町内会長）
359行政区

市内全地域コミュニティ組織
29組織

実施期間

2021年

8月24日

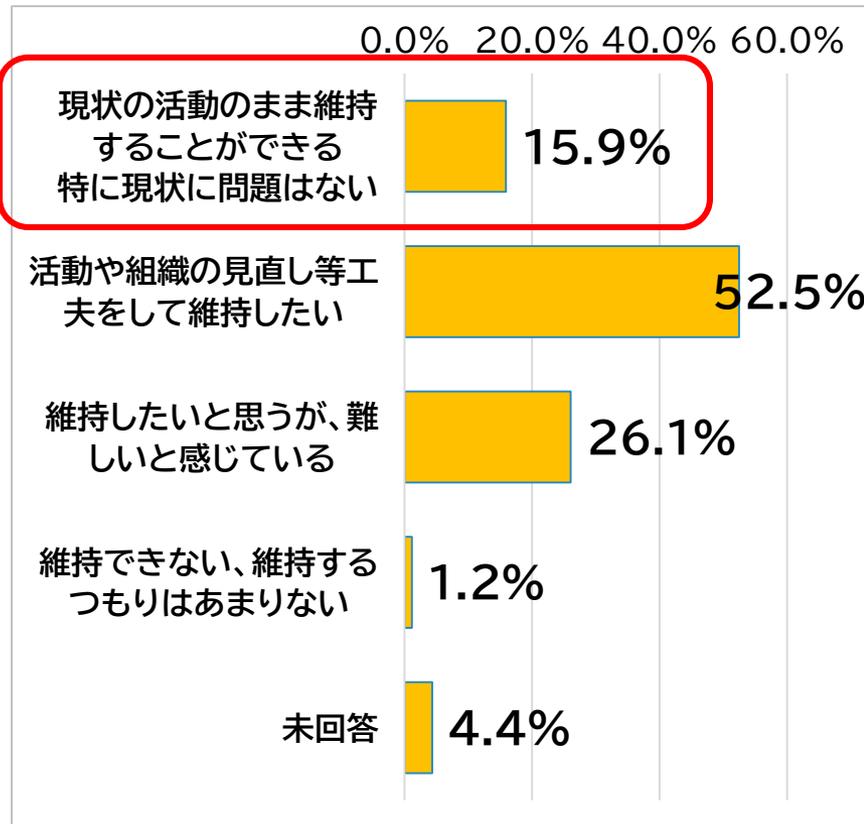
～9月15日まで
WEB回答も併用

特徴的な結果

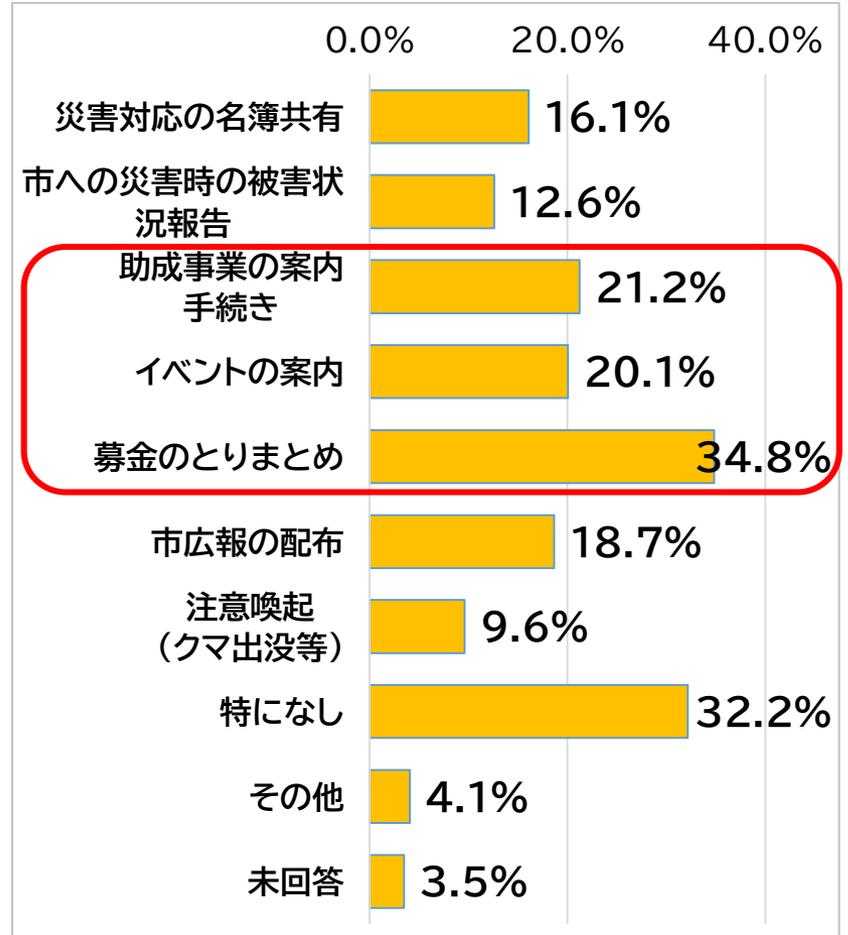
現状の活動のまま維持
できるのは約**16.0%**

助成手続、イベント案内、募金
を中心に改善が必要

■ 将来の区・町内会の維持について



■ 市からの依頼で特に改善が必要なもの（上位3つまで）



アンケート結果の報告会・意見交換会を夏に開催予定

補助金申請書等の統合

< 統合対象 >

- ① 一人暮らし高齢者等安心・見守り活動
 - ② 玄さん元気教室
 - ③ ふれあいいいきいきサロン
 - ④ 支え合い地域活動助成
- これらの補助金申請書、実績報告書

< 提出先 >

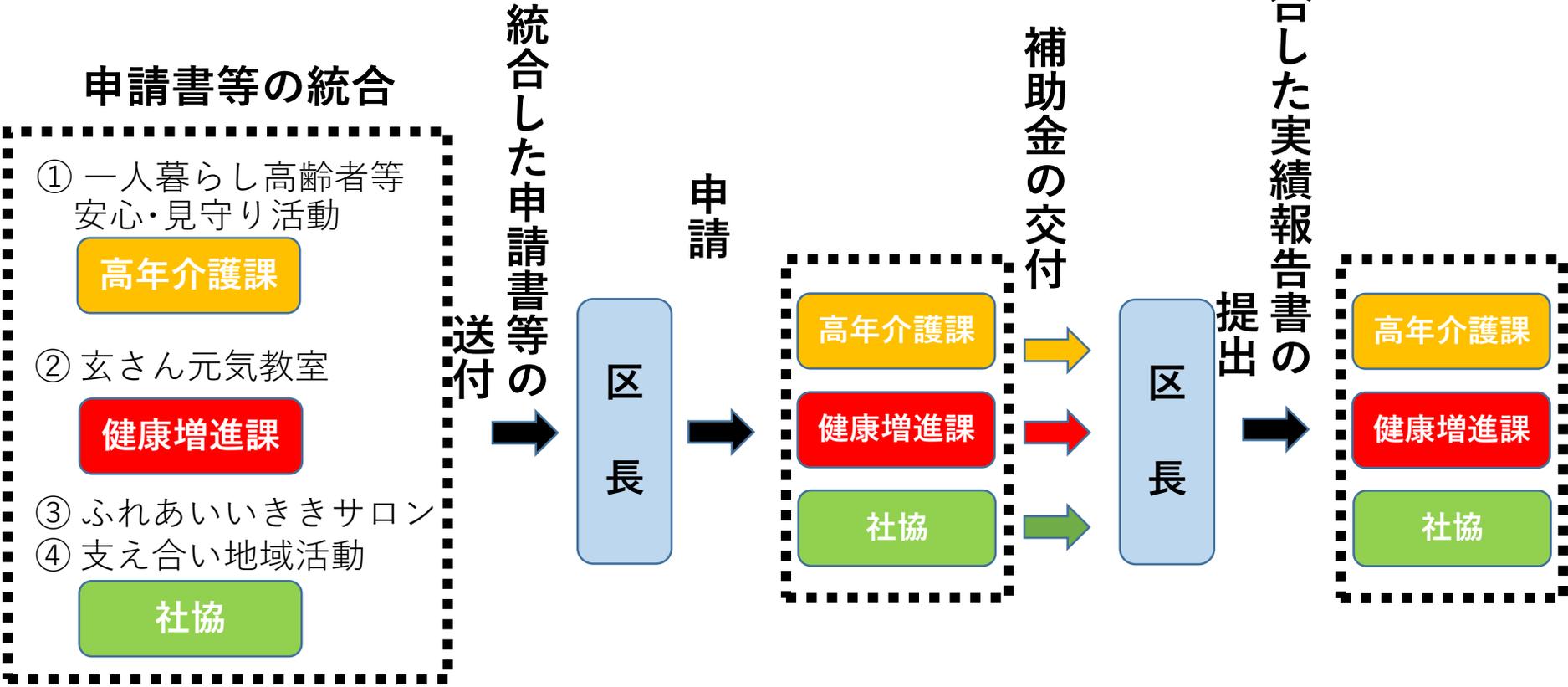
高年介護課・健康増進課・社会福祉協議会
いずれでも可能

< 実施予定日 >

2023年4月から

補助金申請書等の統合

手続の方法（案）



項目

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について
2. 防災マップの活用について
3. 男女が参画する地域づくりについて
4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査結果について
5. **新型コロナウイルスワクチン接種について**
6. 北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備について
7. 水道料金の改定について

5. 新型コロナウイルスワクチン接種の状況について

(1) 現状

- 12歳以上の対象者への追加接種（3回目）を実施中
- 5歳以上11歳以下の方（小児）への接種を実施中
※接種努力義務は適用外
- 接種期間 2022年9月30日

(2) 接種率（5月18日現在）

区分	対象者	接種者	接種率
追加接種	64,018人	46,035人	71.9%
小児接種	4,498人	570人	12.7%

(3) 4回目の追加接種

- 対象：60歳以上の高齢者、18～59歳の基礎疾患のある者
- 接種間隔：3回目接種から5か月以上経過していること

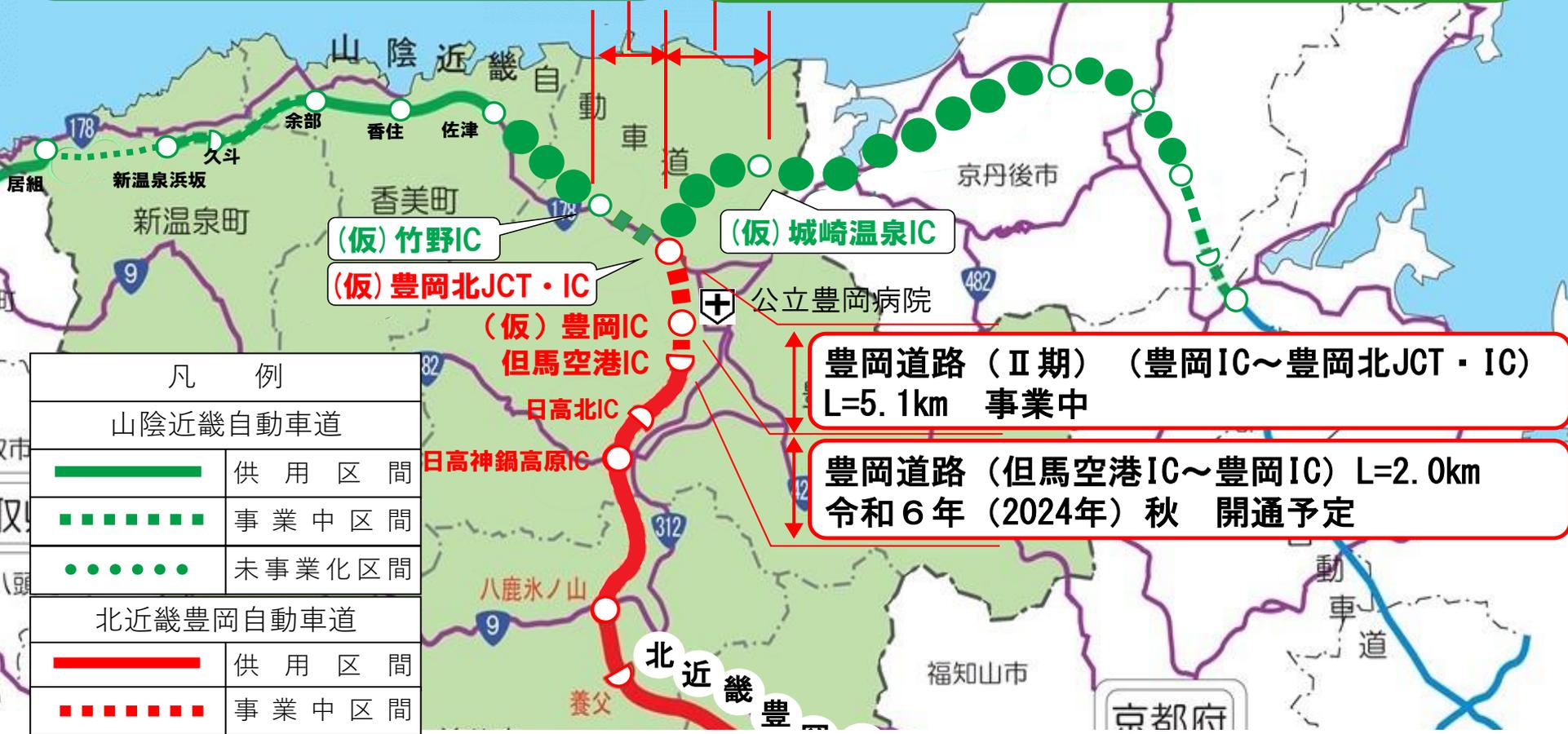
項目

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について
2. 防災マップの活用について
3. 男女が参画する地域づくりについて
4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査結果について
5. 新型コロナウイルスワクチン接種について
6. 北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備について
7. 水道料金の改定について

6. 北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道の早期整備

竹野道路（竹野IC～豊岡北JCT・IC）
L=4.9km 事業中

豊岡北JCT・IC～城崎温泉IC L=約7.6km
2022年2月 都市計画決定
2022年度 直轄による権限代行実施の検討を行うための調査に着手



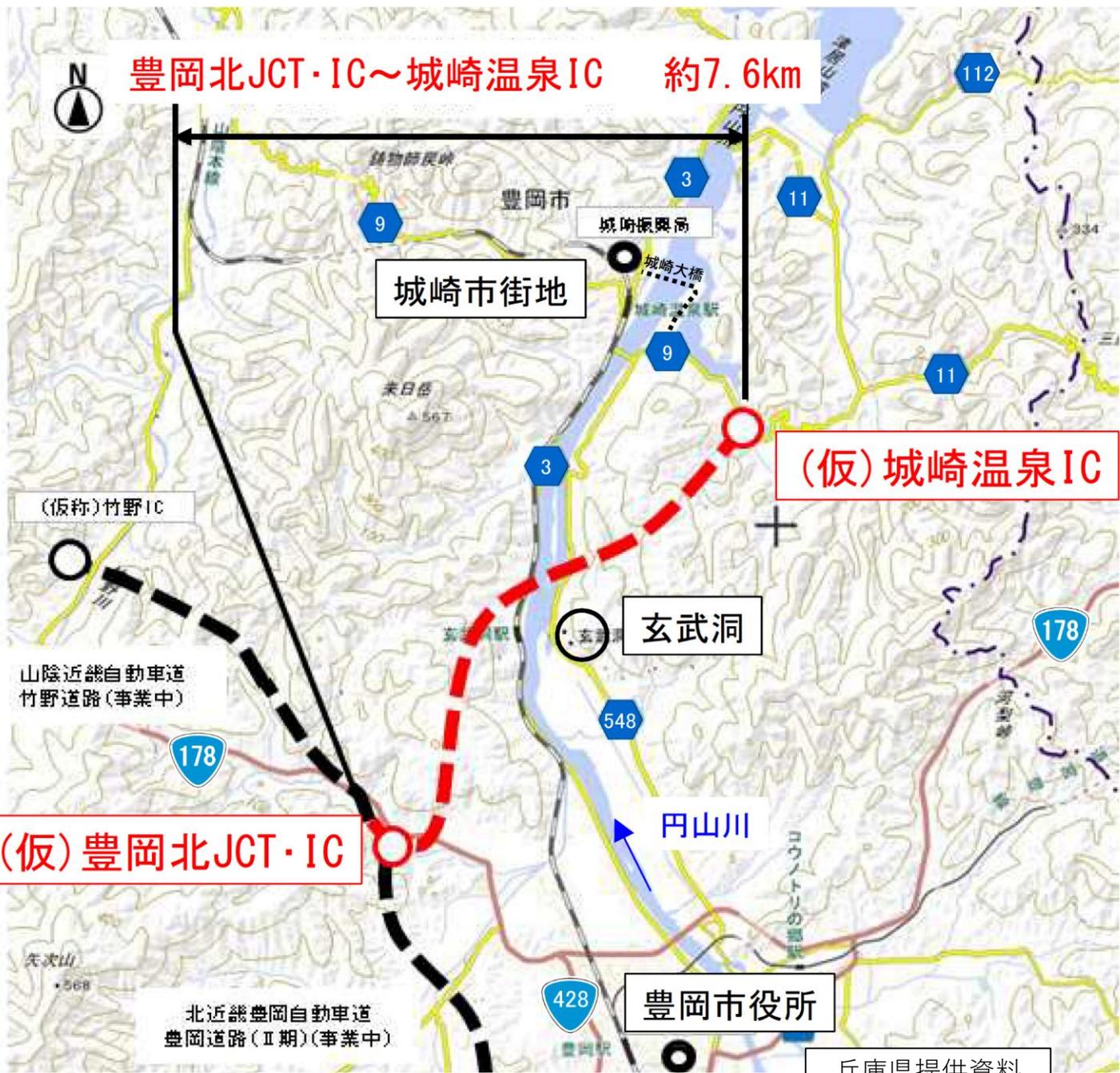
凡 例	
山陰近畿自動車道	
	供用区間
	事業中区間
	未事業化区間
北近畿豊岡自動車道	
	供用区間
	事業中区間

豊岡道路（Ⅱ期）（豊岡IC～豊岡北JCT・IC）
L=5.1km 事業中

豊岡道路（但馬空港IC～豊岡IC）L=2.0km
令和6年（2024年）秋 開通予定



豊岡北JCT・IC～城崎温泉IC 約7.6km



城崎市街地

(仮)城崎温泉IC

(仮)竹野IC

山陰近畿自動車道
竹野道路(事業中)

玄武洞

(仮)豊岡北JCT・IC

円山川

北近畿豊岡自動車道
豊岡道路(Ⅱ期)(事業中)

豊岡市役所

兵庫県提供資料

項目

1. 市役所DX（デジタル・トランスフォーメーション）について
2. 防災マップの活用について
3. 男女が参画する地域づくりについて
4. 支えあう地域のしくみを考えるアンケート調査結果について
5. 新型コロナウイルスワクチン接種について
6. 北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道の整備について
7. 水道料金の改定について

7. 水道料金の改定について

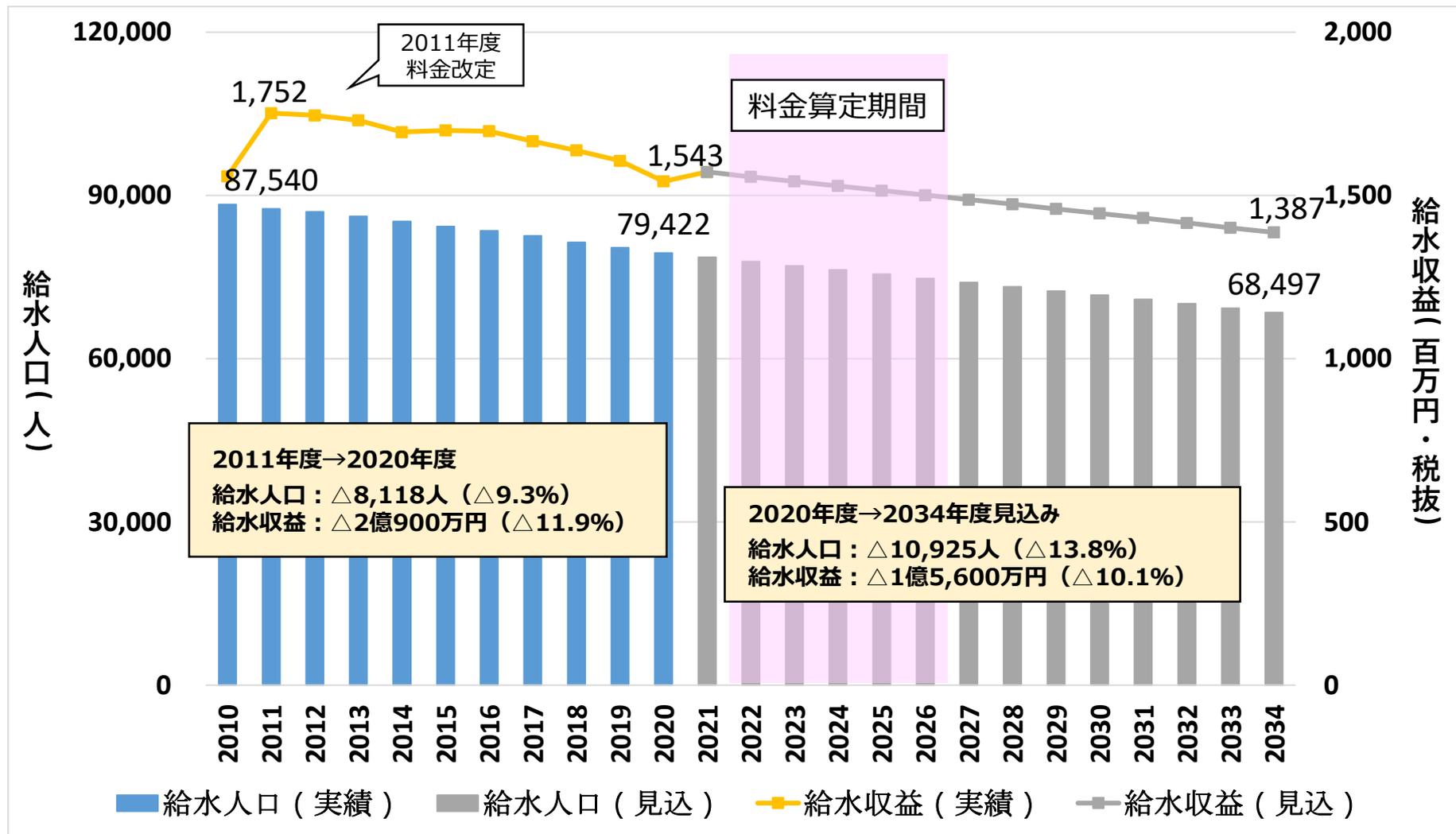
水道事業の現状

- 水道料金収入は、人口、水需要とともに減少傾向にあり、現行料金では料金算定期間内に必要な費用を賄えない見込み。
- 企業債（借金）返済の資金も確保できていない。このままでは、施設等の更新時に再度多額の借金が必要となり、将来の世代に負担を先送りすることになる。

⇒ 水道料金の見直し（値上げ）が必要。

- 長引くコロナの影響や諸物価が高騰傾向にある現状と、値上げが市民生活に与える影響を考慮しつつ、議会に相談しながらしっかりと前に進めていく。

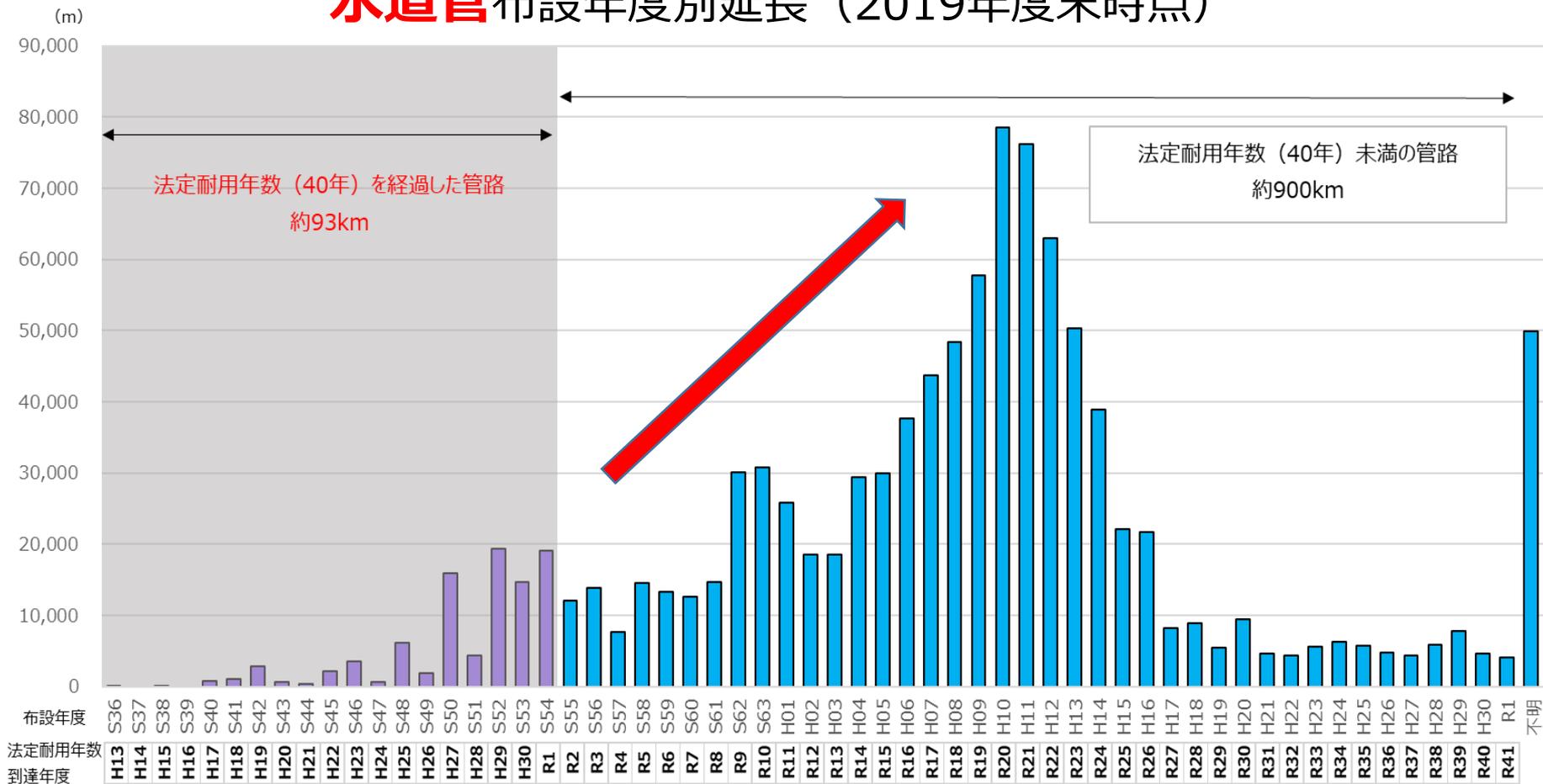
給水収益（料金収入）は減少していく見込みです



**主に人口の減少に伴い、給水収益も減少しています。
 今後もこの傾向が続くと見込んでいます。**

施設の維持管理や更新に要する経費は増加する見込みです

水道管 布設年度別延長 (2019年度末時点)



- 昭和60年代以降に下水道の整備にあわせて更新した水道管などが、今後一斉に法定耐用年数(40年)を迎えます。
- 水道管だけでなく、浄水場や配水池といった施設も老朽化が進んでいきます。

老朽化した管路・施設の更新を進める必要があります



腐食して穴が開いた管
(出典：公益社団法人 日本水道協会)



和歌山市の水管橋崩落事故
(2021年 給水応援派遣時に撮影)

老朽化した施設は適切に更新しないと、漏水等、日常生活に大きな影響を及ぼす事故が発生する可能性が高まります。

老朽化した管路・施設の更新を進める必要があります



**橋下部配水管からの漏水
(2018年 豊岡市内)**

老朽化した管路・施設の更新を進める必要があります

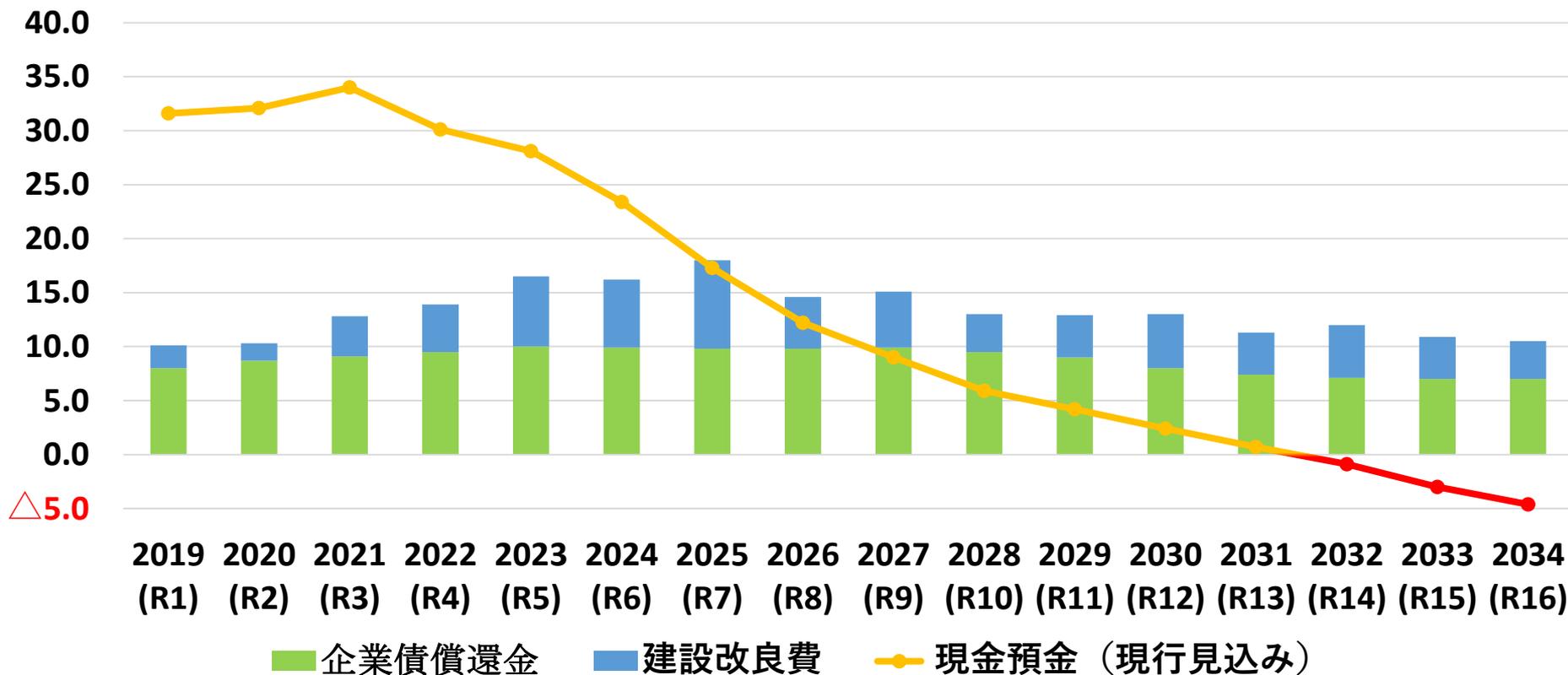


**市道地下埋設管からの漏水
(2021年 豊岡市内)**

このままいくと10年後には資金不足となる見込みです

※ 企業債償還金、建設改良費は、それぞれ財源となる収入を差し引いた額（内部の資金を使用する額）としています。

(億円)



このままでは、必要な工事や借金の返済ができなくなります。

料金改定時期について

- 水道事業経営基盤安定のため、水道料金の改定は必要で、できるだけ早期が望ましいと考えています。
 - コロナ禍をにらみ、「2022（令和4）年10月1日」の改定を検討しましたが、2月に始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻等の要因により、経済動向はさらに不透明な状況となったため、年内の改定は困難であると判断しました。
 - 市民生活を考慮して、適切な周知期間の確保が必要という観点でも検討しました。
- 市民生活と水道事業の経営、両方のバランスを考慮し、「2023（令和5）年4月1日」改定として検討を進めています。